

## 利尻町生活 MAP



# 北海道利尻町 移住案内

— RISHIRI TOWN —



申し訳ありません

お試し暮らしは現在行っておりません

《 お問い合わせ 》

移住相談ワンストップ窓口 北海道 利尻町まちづくり政策課 定住移住推進係  
 〒097-0401 北海道利尻郡利尻町沓形字緑町14番地1 ☎ 0163-84-2345  
 (e-mail) teijyu@town.rishiri.hokkaido.jp <http://www.town.rishiri.hokkaido.jp>



# interview 01

## 移住者インタビュー

後継者支援制度を活用して  
利尻町で漁師になりました！  
島の生活はいつも驚きの連続で、  
毎日が楽しく充実しています！！

**profile**  
小林憲二さん(27歳)  
青森県出身  
職業：漁師 移住歴：4年

利尻町へ漁師として移住  
してきて10年になるお兄  
さんに誘われて、気がつ  
けば利尻町で漁師になっ  
た自分がいました。



### 島の人の温かさに支えられて、利尻 de 漁師道に精進中です！

「ここに来るまでは利尻島が北海道のどこにあるのかも、わからなかったんです(笑)」。屈託なく笑う表情は、どこかクールな印象の小林さん。北海道の最北端、稚内市からフェリーで約1時間50分、利尻島西側のまち利尻町。漁業が主幹産業のこのまちでは、高級ブランド「利尻昆布」を始め、ウニやナマコ、ホッケといった海の幸が豊富に水揚げされます。「漁師の経験もなく、島のこともよく知りませんでした。兄がいたので不安はありませんでした。まちの人が温かく迎え入れてくれたのも有り難かつ

たです。漁師の朝は早く大変ですが、昼頃には仕事も終わり、漁師仲間とよくバーベキューを楽しんでいるそう。「困ったことがあれば助けてくれるし、みんな優しくてまち全体が家族のようです」。いまは3年間の研修期間を終え、自分のペースで仕事が出来る喜びを実感していると言います。「磯舟での水揚げを増やしていくことが当面の目標ですが、将来はもっと自分の出来る幅を増やして漁師としての事業規模を大きくしていきたいですね」。小林さんの目がしっかりと未来を見据えています。



磯舟のメンテナンスも漁師の重要な仕事。面倒見のいい、親方の七尾啓二さんの下で3年間の漁師道の修業を受けた小林さん。

### 【利尻町の就労支援】

利尻町に移り住んで来た方が町内で就業できるよう、様々な研修・奨励金・報奨金・貸付の制度を用意しています。

#### ■ 研修制度(利尻 de 漁師道)

利尻町で漁業の就業を希望する40歳未満の方を対象に、原則、漁家に宿泊しながら漁ろう体験を2週間程度体験し、漁業に対する理解を深め、漁業への適正を知ってもらう研修です。

※漁師道研修を終えた後、新規就業者確保事業として、(1)研修期間1年の雇用型と、(2)研修期間3年の独立型の制度もあります。詳しくは、お問い合わせください。

漁協名	地区名	体験内容
利尻漁業協同組合	甕形地区	昆布養殖作業、ウニ漁業など

#### ■ 後継者支援制度

漁業後継者及び商工業後継者に対し報奨金交付事業を実施しています。

事業名	内容
利尻町漁業後継者報奨金交付事業	利尻漁業協同組合の正会員として5年以上着業しようとする方に、初年度50万円、2年目と3年目に25万円を交付
利尻町商工業後継者報奨金交付事業	本町で営む商工業を引き継いで経営する方で、5年以上継続して商工業に従事しようとする方に30万円を交付

上記の他にも利尻町には就労者支援制度を用意しています。詳しくは、お問い合わせください。



# interview 02

## 移住者インタビュー

島中で子育てしているような温かさに、  
安心して子育てができます！  
日々、たくましく成長する子どもを  
頼もしく感じるんです！！

### profile

千田貢三さん(45歳)  
北海道白糠町出身  
職業：会社員 移住歴：4年  
恵さん(39歳)／鹿児島県出身  
悠翔くん(3歳)・珠慈ちゃん(7ヶ月)

東京で20年余り建設関係の仕事をしてきた貢三さん。子育て環境の良さと二人の海好きという思いが利尻町へ誘い、移住を決断。



### 島の優しさも、島の厳しさも、すべて自分の糧になると感じています！

東京で知り合った千田さんご夫婦。利尻町出身の友人が、後々の利尻町移住へのキーパーソンになることに。「何度か利尻島には遊びに来ていて、自然豊かな海、山が気に入っていました。こんな環境で子育てができればいいなと思っていたんです。妻も私も海が大好きで、二人で島で暮らしてみたいねと話していました」。友人の紹介もあり利尻町での仕事もすぐに見つかり、町営住宅にも空きがあったと、とんとん拍子に移住計画が進みました。「島という環境の中で優しい人たちに囲まれて、のびのびと

子育てが出来るし、まちの人たちみんなで子どもたちを見守ってくれている感じで安心できます」と奥様。東京ではあり得なかった子育て環境に加えて、家族と一緒にいる時間が増えたとも言います。高校生までの医療費が無料など、まちの子育て支援制度も充実しているので家計的にも助かっているそう。「利尻町での島移住を決断するなら、若い時がオススメです。都会生活ではあり得なかった、大切な家族との時間をゆっくりと過ごすことができますよ!」。ご夫婦が声を揃えて教えてくれました。



利尻高校のプールの屋根貼りの作業風景。いつも夕方には自宅に帰り、家族との充実した時間に安らぐ千田さん。

### 利尻町の子育て支援

移住者の方が安心して子育てできるよう、子育てサポートを充実させています。

#### ■ 出産祝い

利尻町に1年以上住所を有し、引き続き定住すると認められる方が3人以上出産した場合、3人目の子どもから、その保護者に対して子ども1人につき25万円を支給します。

#### ■ 児童養育奨励金

利尻町に1年以上住所を有し、引き続き定住すると認められる方が、町内に第3子以上の子を養育している場合、3人目からの子どもにつき、出生時から16歳未満(義務教育期間に限る)まで、その保護者に対し月額1万円を支給します。



甕形保育所



仙法志保育所



上記の他にも利尻町には子育て支援制度を用意しています。詳しくは、お問い合わせください。